

2018年3月期 期末

決算補足説明資料

2018年5月14日

三櫻工業株式会社

(証券コード：6584 東証一部)

- **2018年3月期 期末 連結損益状況**
- **2018年3月期 期末 決算のトピックス**
- **2018年3月期 期末 セグメント別実績**
- **2018年3月期 期末 連結財務状況：対前期末**
- **2018年3月期 期末 連結キャッシュ・フローの状況**
- **2019年3月期 業績予想**

2018年3月期 期末 連結損益状況



	2017年3月期 実績		2018年3月期 実績				2018年3月期 通期予想	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	対前年同期		金額 (百万円)	達成率 (%)
					増減額 (百万円)	増減率 (%)		
売上高	133,794	100.0	138,724	100.0	+4,931	+ 3.7	138,000	100.5
営業利益	6,004	4.5	4,297	3.1	▲1,706	▲ 28.4	5,700	75.4
経常利益	5,389	4.0	4,140	3.0	▲1,249	▲ 23.2	5,600	73.9
当期純利益*	1,074	0.8	4,935	3.6	+3,862	+ 359.7	2,000	246.8

*親会社株主に帰属する当期純利益

●2018年3月期 期末業績のトピックス (対前期)

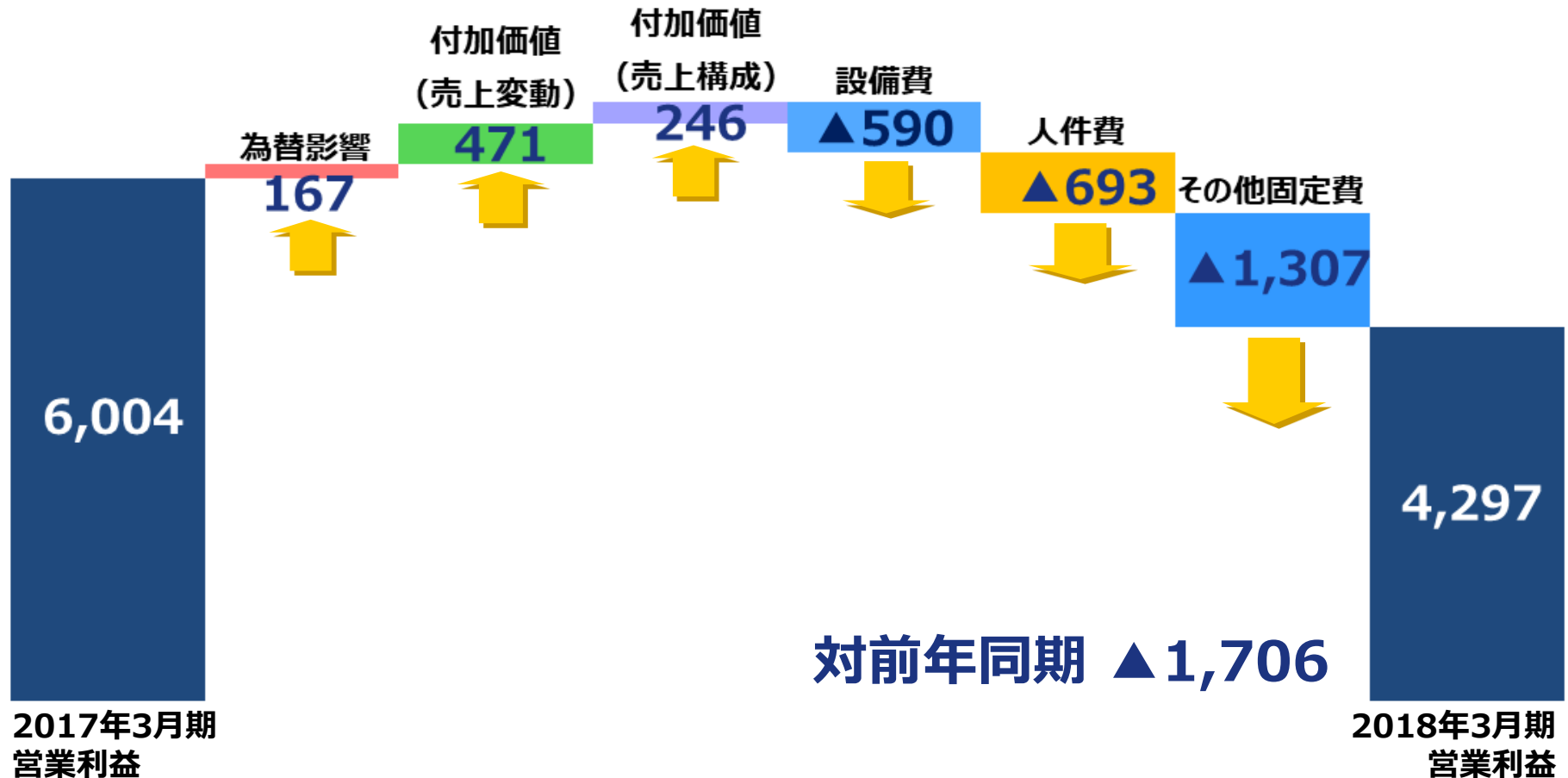
- 売上高：タイやインドの子会社を中心とするアジア及び中国の増収が寄与し、全体で+4,931の増収。
- 営業利益：欧州の赤字は縮小したが、日本、米州の変動費及び固定費が共に増加したことにより▲1,706の減益。
- 経常利益：為替差損等の減少による増益要因はあったが、営業利益の減益が響き▲1,249の減益。
- 純利益：固定資産の減損損失等の特別損失を厚生年金基金解散益等の特別利益が大幅に上回ったことにより+3,862の増益。

●為替の状況

損益換算レート (単位：円)	2017年3月期 平均レート	2018年3月期 平均レート	変動率	2018年3月期 業績予想 レート
ドル	108.8	112.2	+3%	108.0
ユーロ	120.3	126.7	+5%	114.0
メキシコペソ	5.8	5.9	+2%	5.9
人民元	16.4	16.6	+2%	15.8
ポンド	141.6	147.0	+4%	135.8
タイバーツ	3.1	3.3	+7%	3.2
ロシアルーブル	1.6	1.9	+18%	1.9
ブラジルレアル	31.5	35.2	+12%	34.5

● 営業利益要因別増減分析：対前年同期

(単位：百万円)



- ▶ 付加価値の増加：アジア及び中国地域の子会社の増収による増加
- ▶ 人件費の増加：アジア及び中国子会社の生産高増加に加え、米国子会社の新規立ち上げに伴う人員増による増加
- ▶ その他固定費の増加：日本、米州での品質関連のコストが増加

2018年3月期 期末 セグメント別実績



(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2017年3月期	2018年3月期	対前年同期 増減	2017年3月期	2018年3月期	対前年同期 増減
	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)
日本	52,503	53,601	+1,098	1,348	241	▲1,107
北南米	45,455	45,709	+254	3,985	2,611	▲1,374
欧州	23,492	23,855	+364	▲1,193	▲1,020	+173
中国	14,397	15,990	+1,593	325	366	+41
アジア	18,586	21,246	+2,660	1,482	2,050	+568
連結調整	▲20,638	▲21,676	▲1,038	56	50	▲6
合計	133,794	138,724	+4,931	6,004	4,297	▲1,706

● 2018年3月期の地域別業績のトピックス

- ▶ 日本：増収による利益を緊急輸送費や品質関連及び材料価格上昇等のコストの増加が上回り減益。
- ▶ 北南米：ブラジル子会社の生産販売台数の増加が寄与し増収となったが、鋼材価格の影響等により米国及びメキシコ子会社における材料費が増加、米国子会社における人件費及び品質関連コストの増加により減益。
- ▶ 欧州：ロシア子会社の復調及びイギリス子会社が引き続き好調に推移し、ドイツ子会社の生産混乱は沈静化するも、新規立ち上げに関連する固定費の増加により欧州全体で2期連続の営業赤字。
- ▶ 中国：客先生産台数の増加や新規立上りにより増収増益。
- ▶ アジア：各日系メーカーの生産量増大によりタイ及びインド子会社の売上増が寄与したことで地域全体で増収増益。

2018年3月期 期末 決算のトピックス



(増減額の符号は対利益符号)

連 結	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績			2018年3月期 通期予想		主な増減要因 (金額は百万円)	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	対前年同期		金額 (百万円)		達成率 (%)
				増減額 (百万円)	増減率 (%)			
営業利益	6,004	4,297	▲ 1,706	▲ 28.4	5,700	75.4		
営業外 損益	営業外収益	370	577	+ 206	-	-	- その他 +146	
	営業外費用	985	734	+ 251	-	-	- 為替差損の減少 +164	
経常利益	5,389	4,140	▲ 1,249	▲ 23.2	5,600	73.9		
特別利益	43	10,511	+ 10,468	-	-	-	- 厚生年金基金解散益 +10,488	
特別損失	1,958	3,699	▲ 1,741	-	-	-	- 減損損失の増加 ▲2,202 - 製品保証引当金繰入額 +635 (当期なし)	
税引前利益	3,473	10,952	+ 7,479	+ 215.3	-	-		
法人税等	1,873	5,253	▲ 3,380	-	-	-		
非支配株主利益	527	764	▲ 237	-	-	-		
当期純利益*	1,074	4,935	+ 3,862	+ 359.7	2,000	246.8		

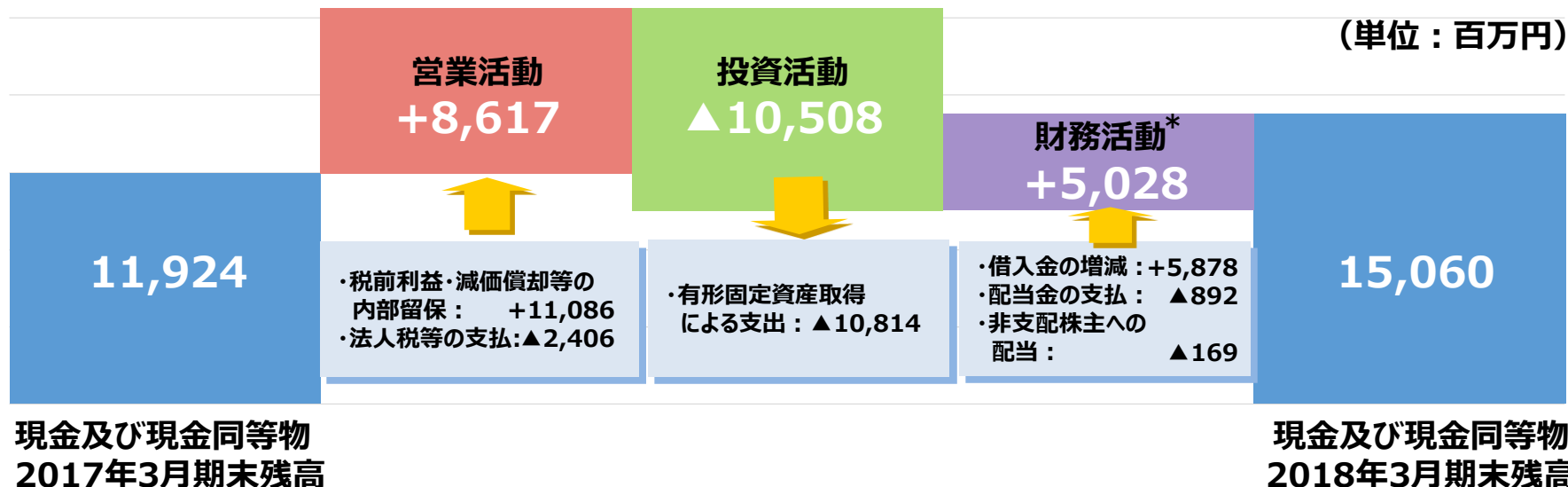
*親会社株主に帰属する当期純利益

2018年3月期 期末 連結財務状況：対前期末



連結		2017年3月期末		2018年3月期末			
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末 増減額 (百万円)	主な増減要因 (金額は百万円)
資産	流動資産	54,889	52.7	59,504	55.9	+4,615	総資産： +2,227 増加 ①現預金の増加 : +3,136 ②棚卸資産の増加 : +1,158 ③有形固定資産の増加 : +2,454 ④繰延税金資産（固定）の減少 : ▲4,611
	固定資産	49,330	47.3	46,943	44.1	▲2,388	
	資産合計	104,219	100.0	106,446	100.0	+2,227	
負債	流動負債	36,185	34.7	42,214	39.7	+6,029	負債総額： ▲8,299 減少 ①短期借入金の増加 : +5,369 ②退職給付に係る負債の減少 : ▲17,400 ③繰延税金負債（固定）の増加 : +1,199
	固定負債	32,453	31.1	18,126	17.0	▲14,327	
	負債合計	68,638	65.9	60,340	56.7	▲8,299	
純資産合計		35,581	34.1	46,107	43.3	+10,526	純資産総額： +10,526 増加 ①利益剰余金 : +4,044 ②為替換算調整勘定 : +1,000 ③退職給付に係る調整累計額 : +4,276
負債純資産合計		104,219	100.0	106,446	100.0	+2,227	

● 2018年3月期 連結キャッシュ・フローの状況



* 現金及び現金同等物に係る換算差額 (+294百万円) は 財務活動に含まれております。

● 設備投資 (連結) の状況

(単位：百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期		2019年3月期 計画
		実績	対前年同期	
設備投資額	8,678	10,814	+ 2,136	11,600
減価償却費	5,352	5,846	+ 494	7,400

2019年3月期 業績予想：対前期



連結	2018年3月期 実績		2019年3月期 業績予想	
	通期 (百万円)	通期 (百万円)	対前期	
			増減額 (百万円)	増減率
売上高	138,724	143,000	+4,276	+3.1%
営業利益 【営業利益率】	4,297 3.1%	5,300 3.7%	+1,003	+23.3%
経常利益 【経常利益率】	4,140 3.0%	5,000 3.5%	+860	+20.8%
当期純利益* 【当期純利益率】	4,935 3.6%	1,800 1.3%	▲3,135	▲63.5%
一株あたり純利益 (円)	135.60	49.46	▲86.14	
配当 (円)	25.00	25.00	-	

為替レート	2018年3月期 実績		2019年3月期 業績予想	
	通期レート (円)	通期レート (円)	対前期	
			増減額(円)	増減率
米ドル	112.2	105.0	▲7.2	▲6.4%
ユーロ	126.7	130.0	+3.3	+2.6%

● 売上高の変動要因

- ・アジア、欧州、中国の売上高が増加

● 営業利益の変動要因

- ・アジアの売上高増加に伴う利益増加
- ・ドイツ子会社の採算性改善

● 当期純利益の変動要因

- ・減損損失減少（2018年3月期 3,323百万円発生）
- ・厚生年金基金解散益なし（2018年3月期 10,488百万円発生）

*親会社株主に帰属する当期純利益

このプレゼンテーションで述べられている三櫻工業株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。